

応募作品の推薦理由

① 十万石 水城公園

城下町と言えば蔵造りの建物がある街並みを想像します。

そんな蔵をイメージし、蔵の象徴であるなまこ壁も現代風にアレンジした建物です。

④ まきばの温泉 ディサービスセンター

木造の門、塀に囲まれたアプローチ、煉瓦の和風な外観は、一日楽しく快適に過ごせる事を想像します。

「蔵のまち行田」を意図した建物です。

③行田天然温泉 古代蓮物語

地中深く眠っていた古代蓮の実に、原始的な自然のロマンを求め、地下 1200m から湧き出た天然温泉を贅沢に使い、行田で一番の天然温泉を掘りました。

皆様に身近に本当の温泉を味わっていただける建物です。

②旬彩日本料理 和げん

昔の和をイメージし、京風の景観を取り入れました。

和のくつろぎと共に離れを設置し、和やかな宴のひとつときを楽しんでいただける建物です。

四季折々の花木も建物をひきたてています。

⑤ 和光保育園

幼い頃の原体験や原風景は大切であり、その心に残るものは夢のあるものでありたい。

より良い環境のもとで、園児の確かな成長に応えられるように、園舎の設計に配慮しました。

- ・威圧的にならないように屋根の形を民家風にし、行田の町にふさわしく、また周囲の風景になじむように配慮した。
- ・「木を基本としたい」と言う園の考えを基に、園舎内部を木のぬくもりを感じるように配慮した。

⑩ 中村邸

この長屋門の大きく白い姿が、広い屋敷林を背景とし農村風景に調和しています。

また、当時の忍藩主がこの地での鷹狩の際に、庄屋であった中村家にて休息する為、この門をくぐり入ったとのこと。

なお、現在の門は、大正 3 年頃の利根川堤防拡幅により、移築されたものである。

⑨ 西田邸

北側に櫨の防風林、大きな茅葺き屋根、かつての武蔵野の農村風景を今に留めている。

⑥ 山崎邸

江戸元禄時代(1690)を至て、天保時代(1830)忍藩、佐間組の役割庄屋として16ヶ村を統括していた山崎屋。

中門は天保時代に造られた当時のものを修繕しながら保存し、現在に至っている。中門を入ると枯山水式庭園で飛石、龍置石、五重塔、三尊系石組が自然の調和をみせている。

⑧ 武蔵野銀行行田支店

明治時代の建築物のように歴史を感じさせる。

⑩ 忠次郎蔵

蓮華寺通り面し行田を代表する産業であった足袋の原料を商っていた店舗で、解体予定であった建物を改修し店舗などとして再活用している。

足袋の町「行田らしさ」を象徴し蓮華寺通りの景観の創出にも寄与している。

また、行田の足袋産業最盛期を象徴する建物として国の登録文化財にもなっている。

⑦ 栗原医院

忍城の二階櫓の跡にできていて、トトロに出てきそうな古い病院でカッコよかったから。